

VERITAS™

自習 & ハンズオントレーニング資料
Backup Exec 16
BE16-04
インストール

ベリタステクノロジーズ合同会社

テクノロジーセールス & サービス統括本部
セールスエンジニアリング本部

免責事項

- ベリタステクノロジーズ合同会社は、この文書の著作権を留保します。また、記載された内容の無謬性を保証しません。
- VERITAS の製品は将来に渡って仕様を変更する可能性を常に含み、これらは予告なく行われることもあります。
- なお、当ドキュメントの内容は参考資料として、読者の責任において管理/配布されるようお願いいたします。二次利用される場合、弊社はその成果物に対して責任を負いません。

目的

本資料で自習もしくはハンズオントレーニングを受講すると、以下が可能となります。

- Backup Exec のインストール操作ができるようになります。
- インストール時に必要な各種設定項目がわかります。
- 上記により、お客様への製品販売時の作業が実施可能となります。

■ハンズオン環境の場合

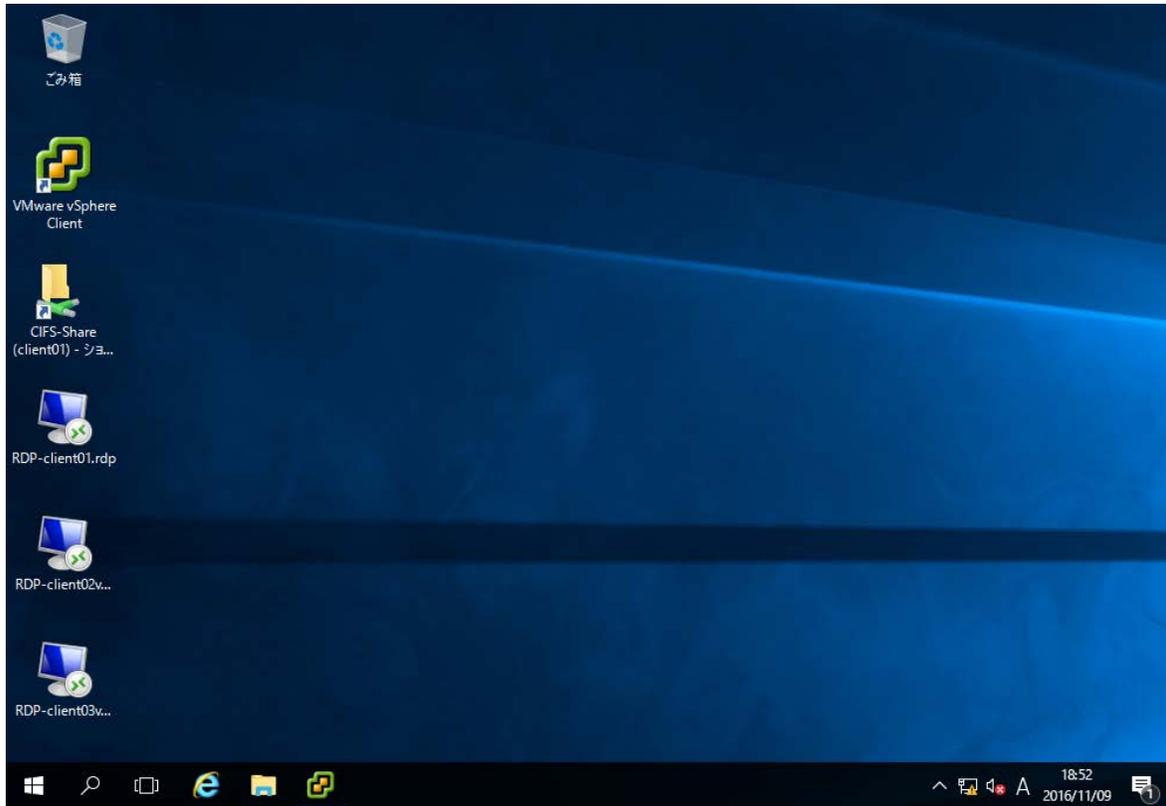
ここから以降は、事前に講師から指示された仮想マシン上で作業を実施します。
以下を確認して作業を進めてください。

- ・仮想マシン名
- ・アカウント
- ・パスワード

■自習の場合

以降は、記述内容を適宜自習環境の情報と読み替えて作業を実施してください。

1/27 インストール前の作業



Backup Execのインストール
先のサーバにログインしま
す。

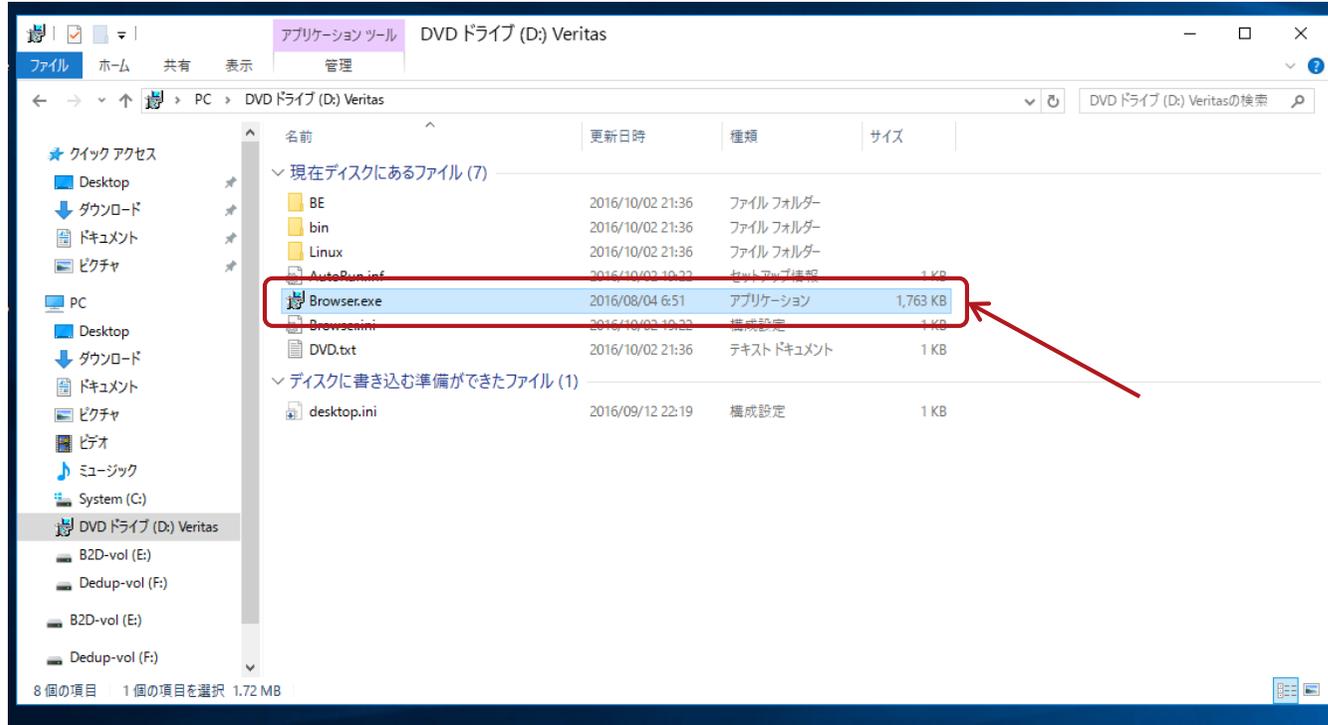
ハンズオン環境の場合、
Backup Execサーバー用の
マシンのコンソールにログイ
ンします。

アカウント: Administrator

パスワード: Password#

※)ハンズオンでは、
「besvr01」にログインします。

2/27 DVDブラウザの起動



エクスプローラーを開き、Backup Execのインストールメディア、もしくはインストールファイルのフォルダを表示します。

※)ここでは、DVDドライブ「D:ドライブ」を開いています。

ハンズオン環境の場合は、この「D:¥Browser.exe」をダブルクリックして、起動します。

実際にDVDメディアを挿入すると左下図のように言語選択のウィンドウが自動表示されます。「日本語」の表示を確認し、「OK」をクリックします。



3/27 インストールの開始 その1



次にインストーラー「Veritas Backup Exec 16 DVDブラウザ」が起動してきます。

その中の「製品をインストールする」をクリックします。

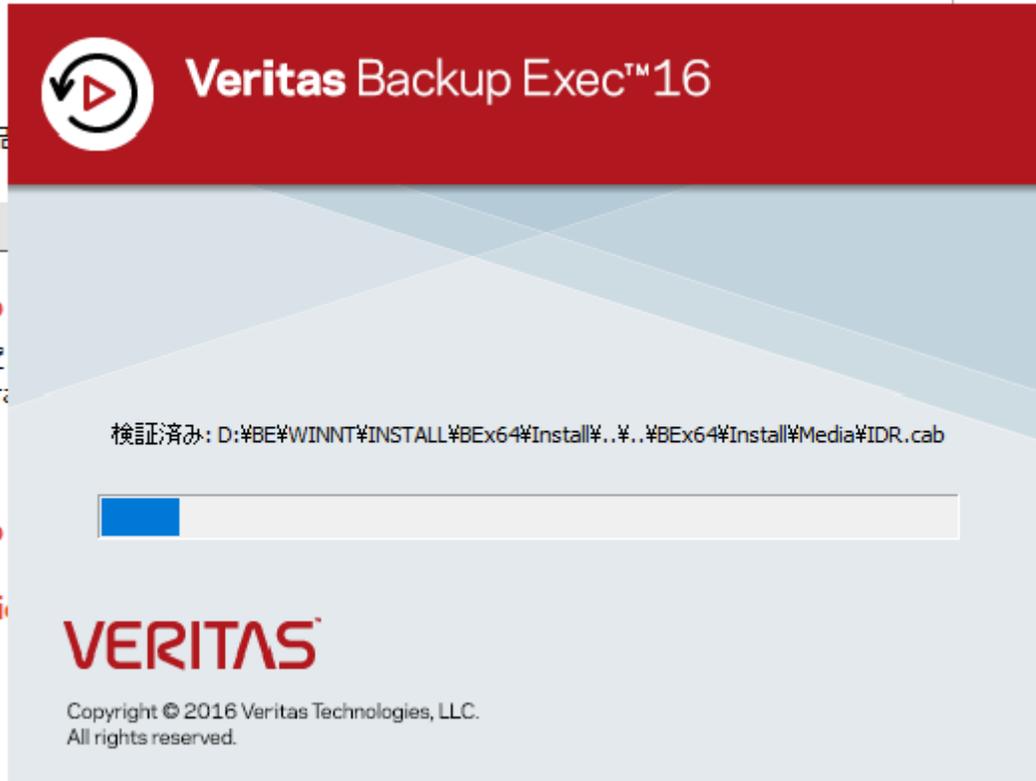
4/27 インストールの開始 その2



インストールする製品を選択する画面が表示されます。

「Backup Exec」を展開表示させ、その中の「インストール」をクリックします。

5/27 インストーラーの起動



インストーラーが起動してきます。そのまましばらくお待ちください。

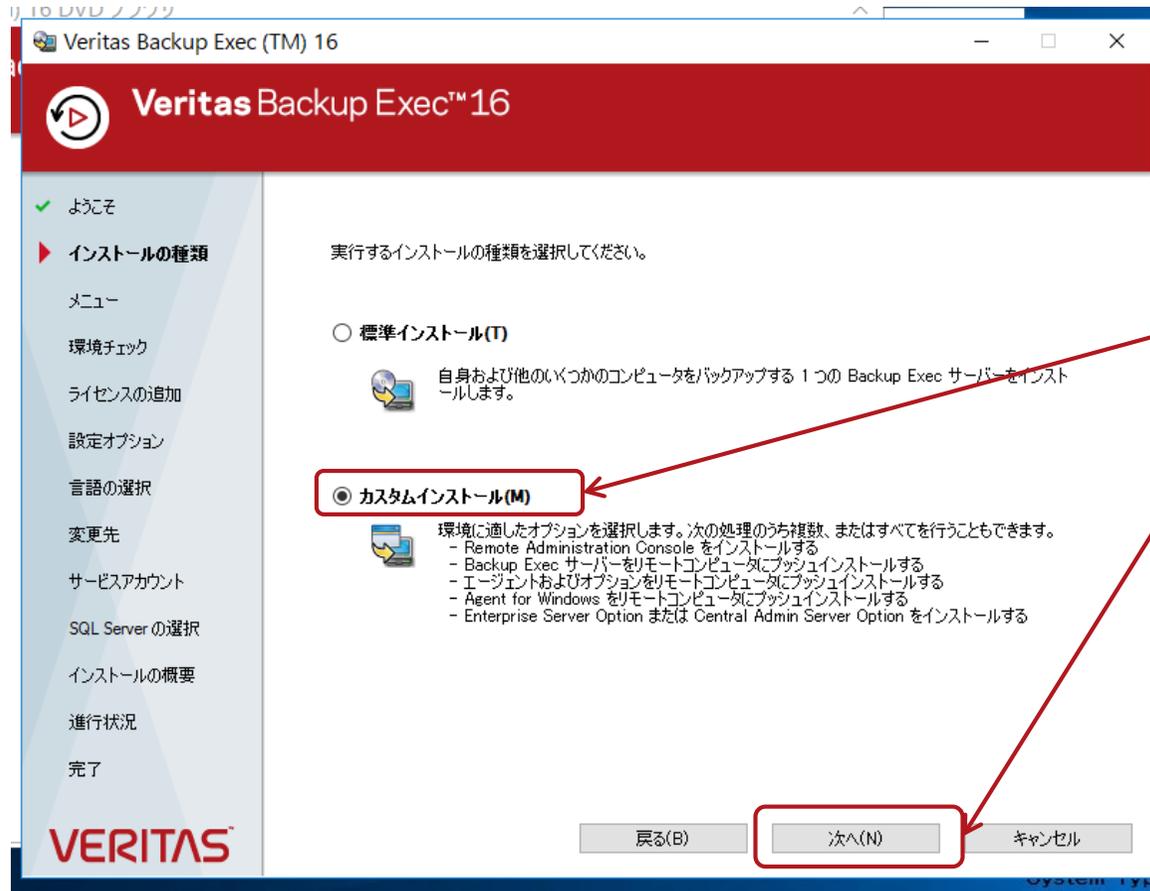
6/27 使用許諾契約



使用許諾画面が表示されます。

「使用許諾契約書に同意します」を選択し、「次へ」をクリックします。

7/27 インストール種類の選択



インストールの種類を選択する画面が表示されます。

今回は「カスタムインストール」を選択し、「次へ」をクリックします。

8/27 <参考>インストール種類別の設定項目の差異

【標準インストール】

- ✓ ようこそ
- ▶ **インストールの種類**
- 環境チェック
- ライセンスの追加
- サービスアカウント
- リモートコンピュータ
- インストールの概要
- 進行状況
- 完了

【カスタムインストール】

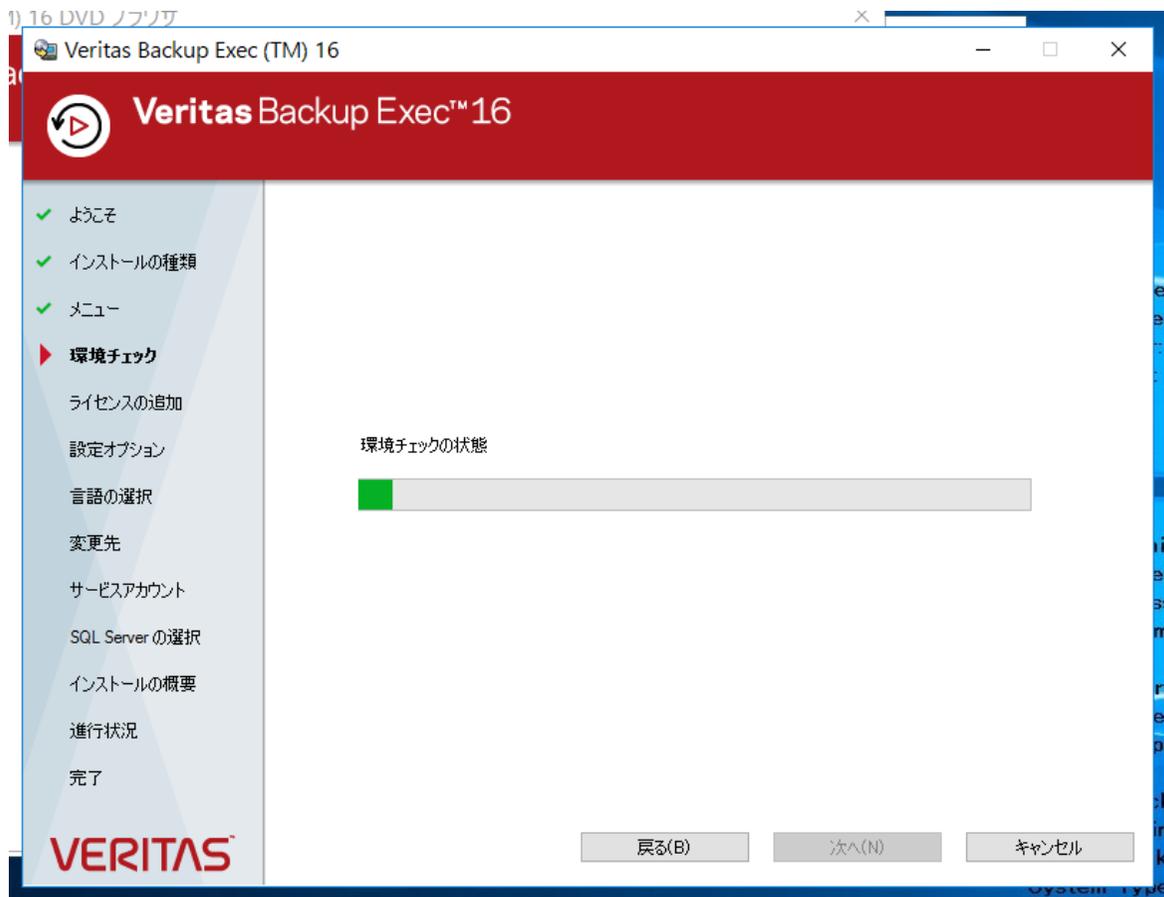
- ✓ ようこそ
- ▶ **インストールの種類**
- メニュー
- 環境チェック
- ライセンスの追加
- 設定オプション
- 言語の選択
- 変更先
- サービスアカウント
- SQL Server の選択
- インストールの概要
- 進行状況
- 完了

9/27 インストール先の選択



「ローカルインストール」の下の「Backup Exec および各オプションのインストール」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

10/27 環境チェック



環境のチェックが実施されます。

11/27 環境チェックの結果確認



環境チェックの結果が表示されたら、確認後、「次へ」をクリックします。

12/27 シリアル番号確認に関する注意点



ライセンスのアクティベーション方法についてのインフォメーション画面が表示されます。

内容を確認後、「OK」をクリックします。

13/27 ライセンスの登録



ライセンスの登録画面が表示されます。

ハンズオンではライセンスを登録せずに、評価版として利用します。

実際の納品用作業の場合は、お手元のシリアル番号、またはライセンスファイルを登録します。

「次へ」をクリックします。

【注意】シリアル番号の入力を行う場合には、インターネット接続環境が必要です。ライセンスファイルでの登録を行う場合には、事前に弊社ポータルサイト「MyVeritas」で SLF ファイルを入手頂き、「SLF のインポート」をクリックして登録を行います。

サイトの URL <https://my.veritas.com/>

ライセンスは、後から追加可能です。

◎ 評価版で導入 => 後日ライセンスを追加し正規環境へ

14/27 <参考>実際のライセンス登録例



この例では

- Backup Exec 16 基本ライセンス
- Agent for VMware & Hyper-V
- Agent for Windows

のライセンスを登録しています。

※) ここでの「終了日」は、サポート契約の終了日のことです。終了日以降もライセンスは継続利用可能です。

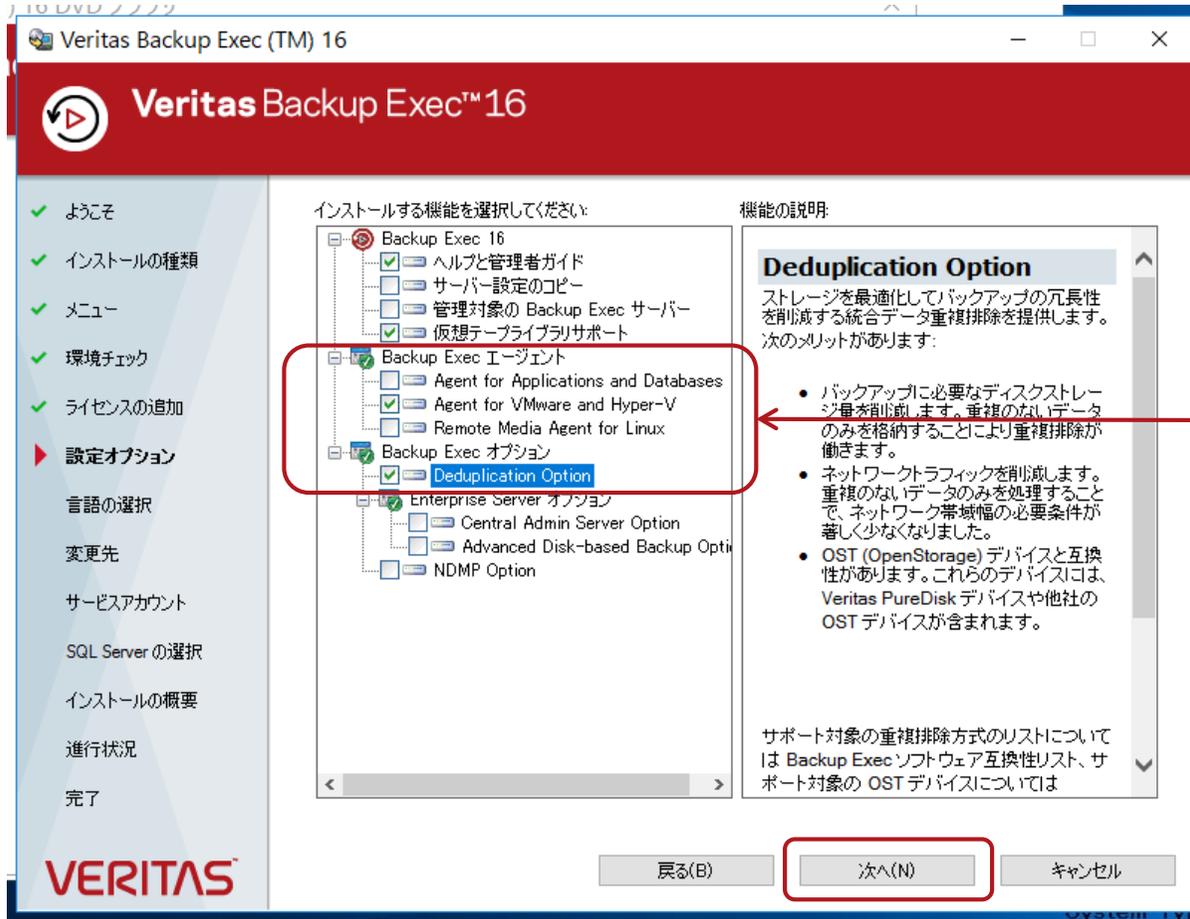
15/27 評価版に関する注意事項



評価版でインストールする場合には、注意点が表示されます。

確認後、「OK」をクリックします。

16/27 エージェント、オプションの選択



次に、インストールするエージェントやオプションを選択する画面が表示されます。

ハンズオンでは、

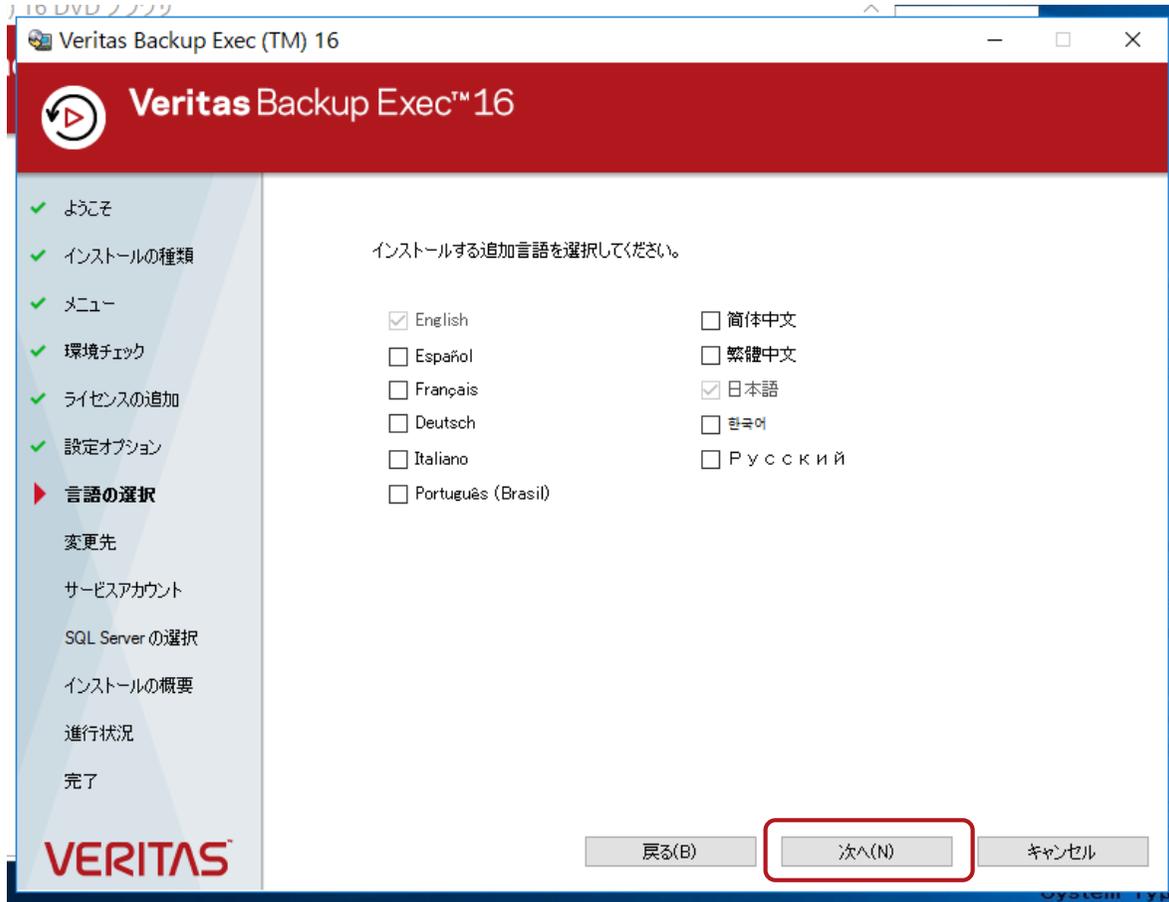
- Agent for VMware and Hyper-V
- Deduplication Option

を選択します。

納品用作業の場合は、購入したオプション/エージェントを、漏れなく選択してください。

オプション/エージェントは、インストール後でも追加可能です

17/27 インストールする言語の選択



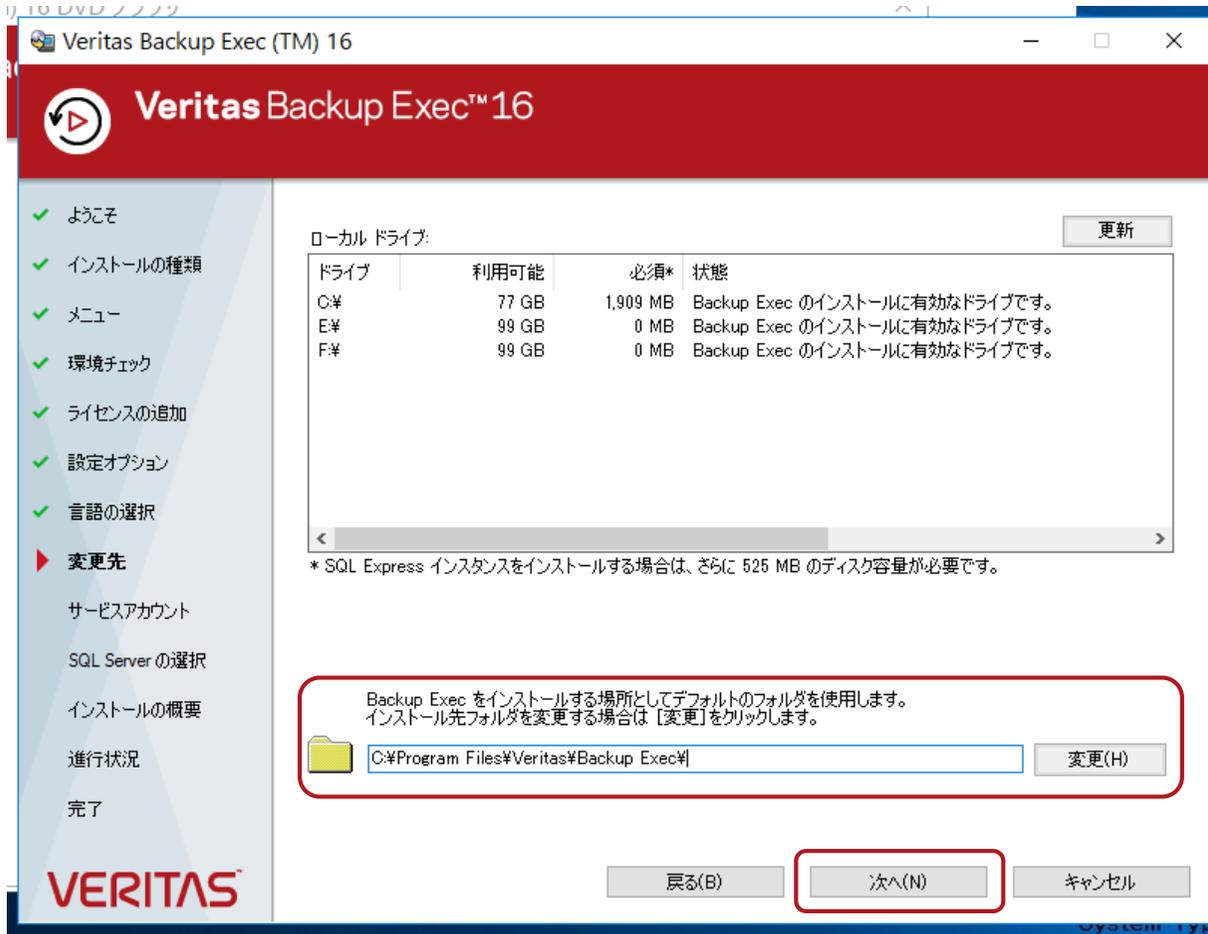
インストールする言語を選択する画面が表示されます。

「日本語」、「English」

が選択されていることを確認します。

「次へ」をクリックします。

18/27 インストールパスの設定



次にインストール先の確認画面が表示されます。

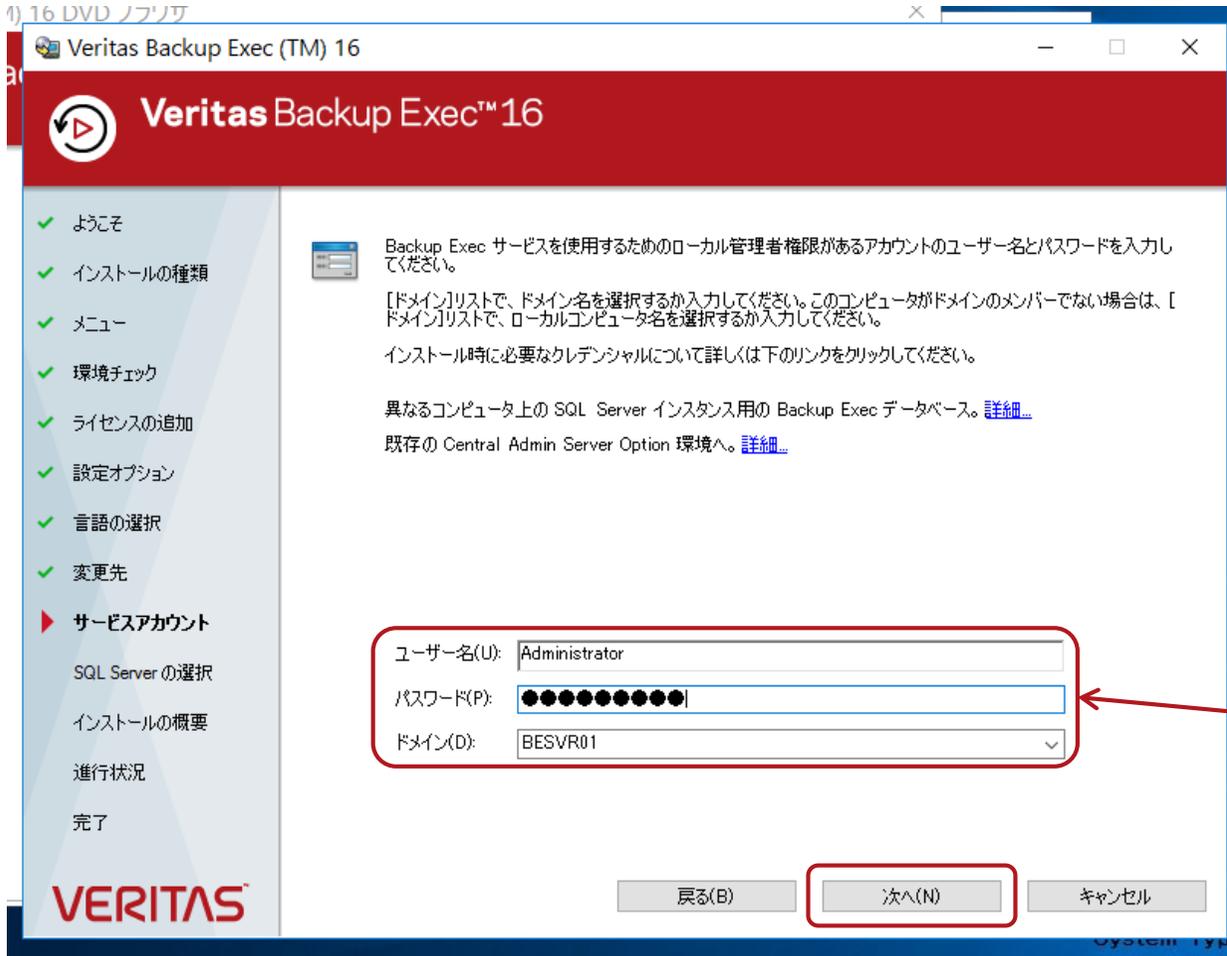
ハンズオンでは変更しません。

納品用作業時、必要な場合はここでインストール先のドライブ/パスを変更します。

「次へ」をクリックします。

Backup Exec 16からは、標準インストール先のパスが変更されています。
C:\Program Files\Veritas\Backup Exec

19/27 サービスアカウントの登録



※ ローカル管理者権限、もしくはドメイン管理者権限を有するアカウントを利用してください。

Backup Execのサービス用のアカウントを登録する画面が表示されます。

Administrator権限のアカウント情報を入力して「次へ」をクリックします。

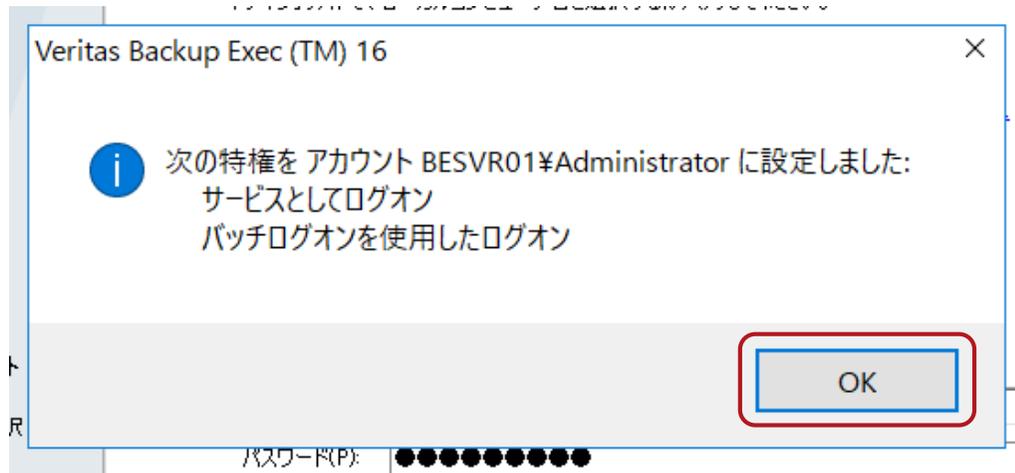
今回のハンズオンでは、

ユーザー名 : Administrator
パスワード : Password#
※ ワークグループ環境の場合「ドメイン欄」はサーバ名を入力します。

を入力します。

納品作業時は、環境に応じたアカウント情報を登録します。

20/27 サービスアカウントの登録確認

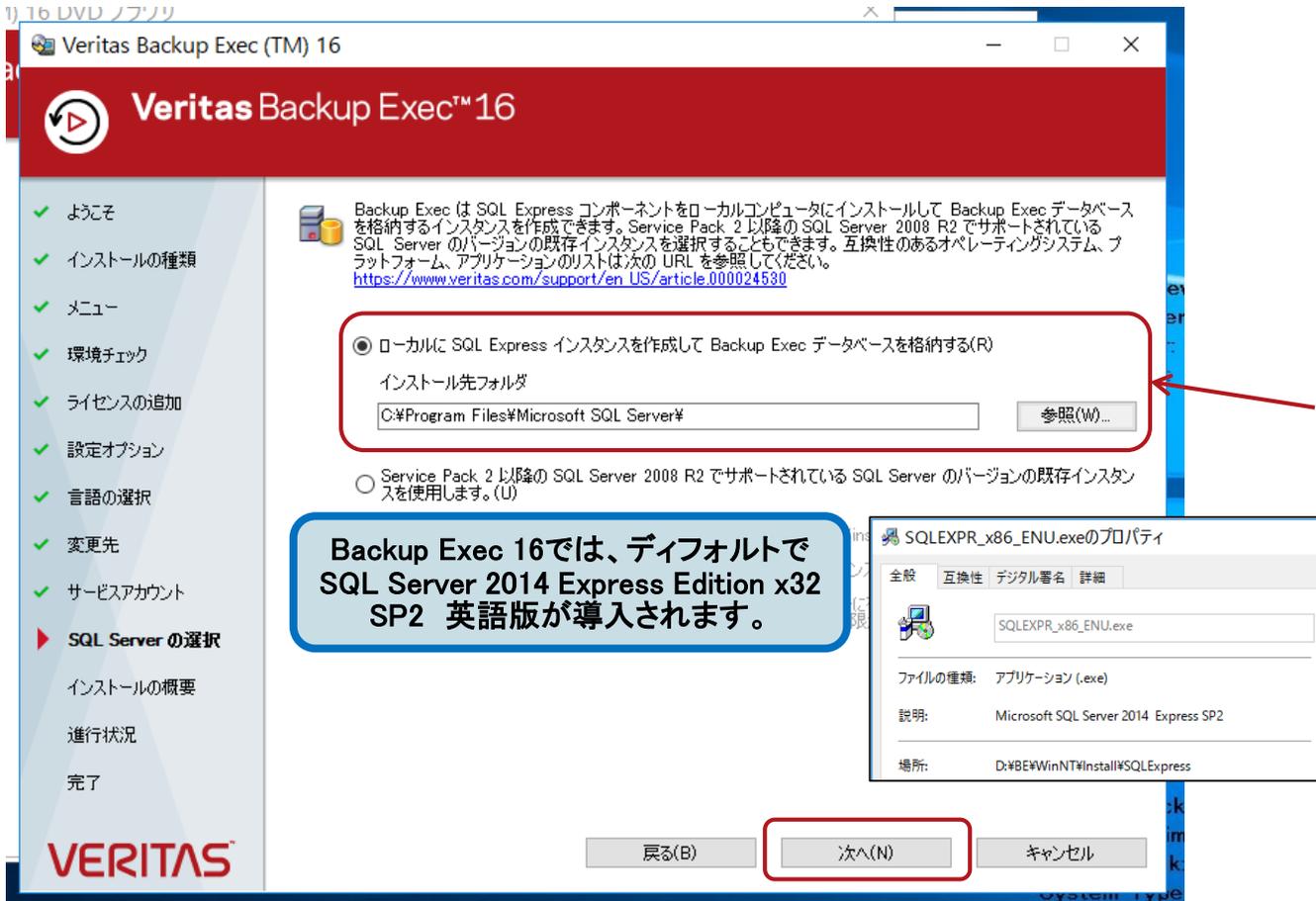


アカウントが設定された旨の画面が表示されます。

登録したアカウントに、必要な特権が付与されます。

「OK」をクリックします。

21/27 SQL Server の設定



Backup Execが利用するDBを選択する画面が表示されます。

ハンズオンでは、
「ローカルにSQL Expressインスタンスを作成してBackup Execデータベースを格納する」

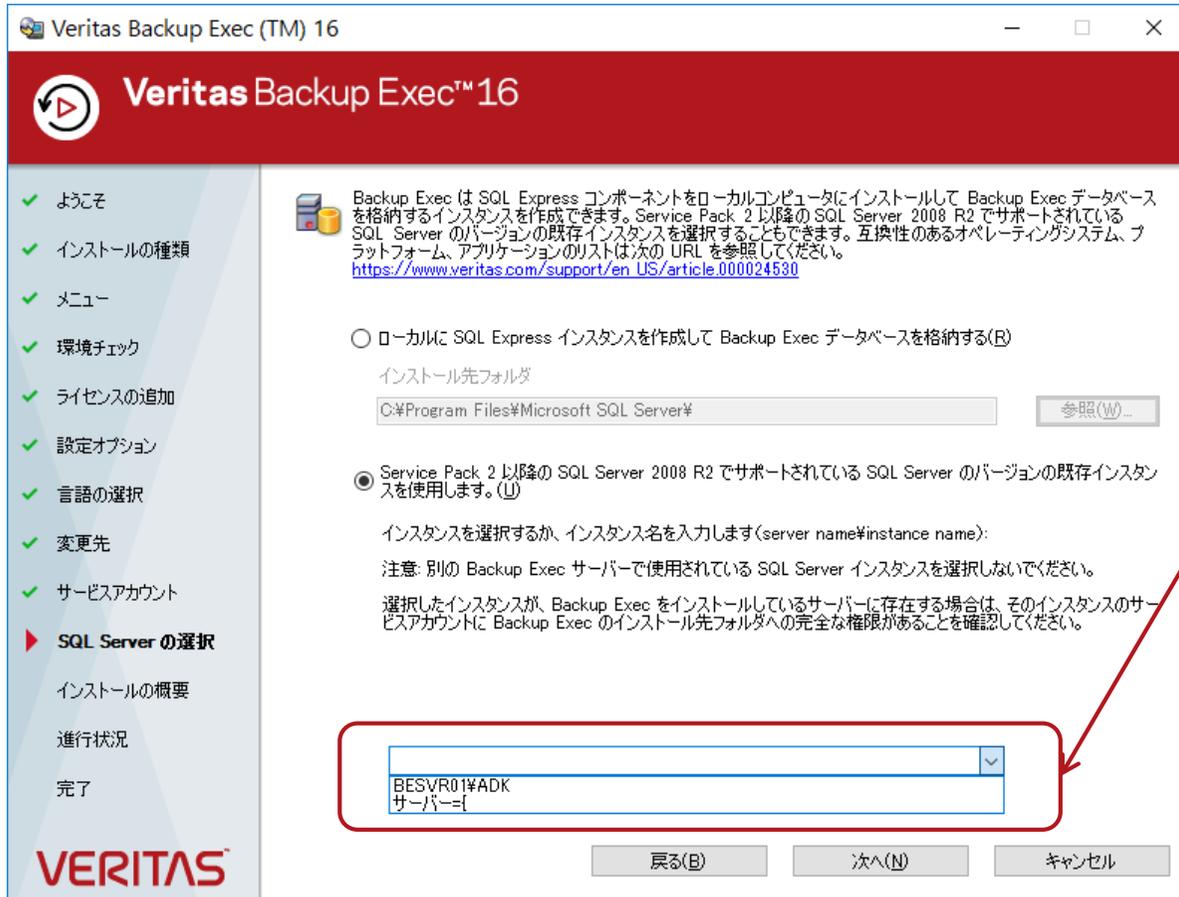
が選択されていることを確認します。

納品用作業時も、特に必要なければ、デフォルト設定のまま進めます。

「次へ」をクリックします。

同じサーバーに他のSQL Serverが導入済/導入予定の場合は、マイクロソフト社の推奨条件を確認して対応してください。
例) 同じバージョンのSQLServer、同じSPレベル、同じ言語版、etc

22/27 <参考>既存インスタンスの選択例

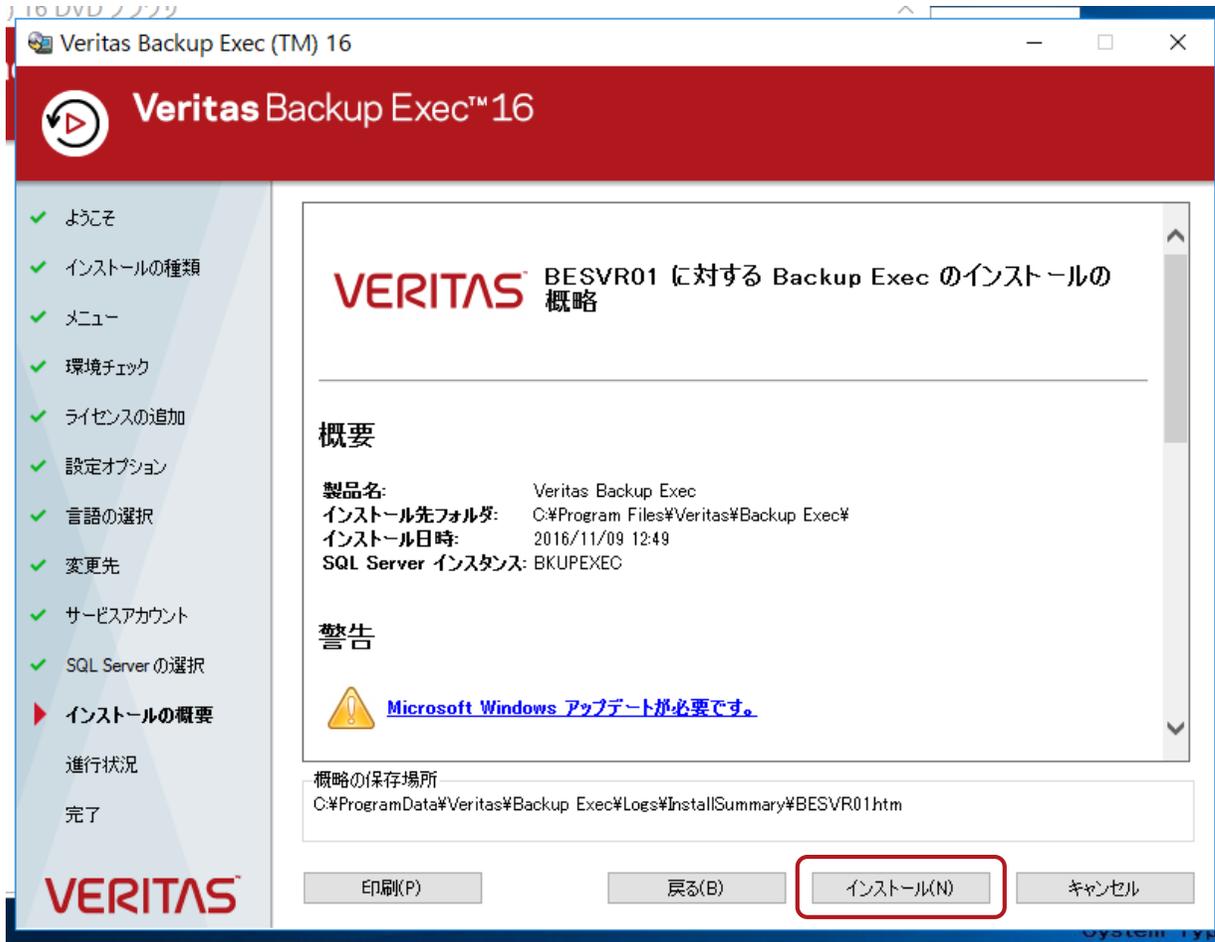


<参考>

既存インスタンス、もしくは別途準備した専用インスタンスを選択する場合は、左図のように選択します。

注) ハンズオンでは変更しません！

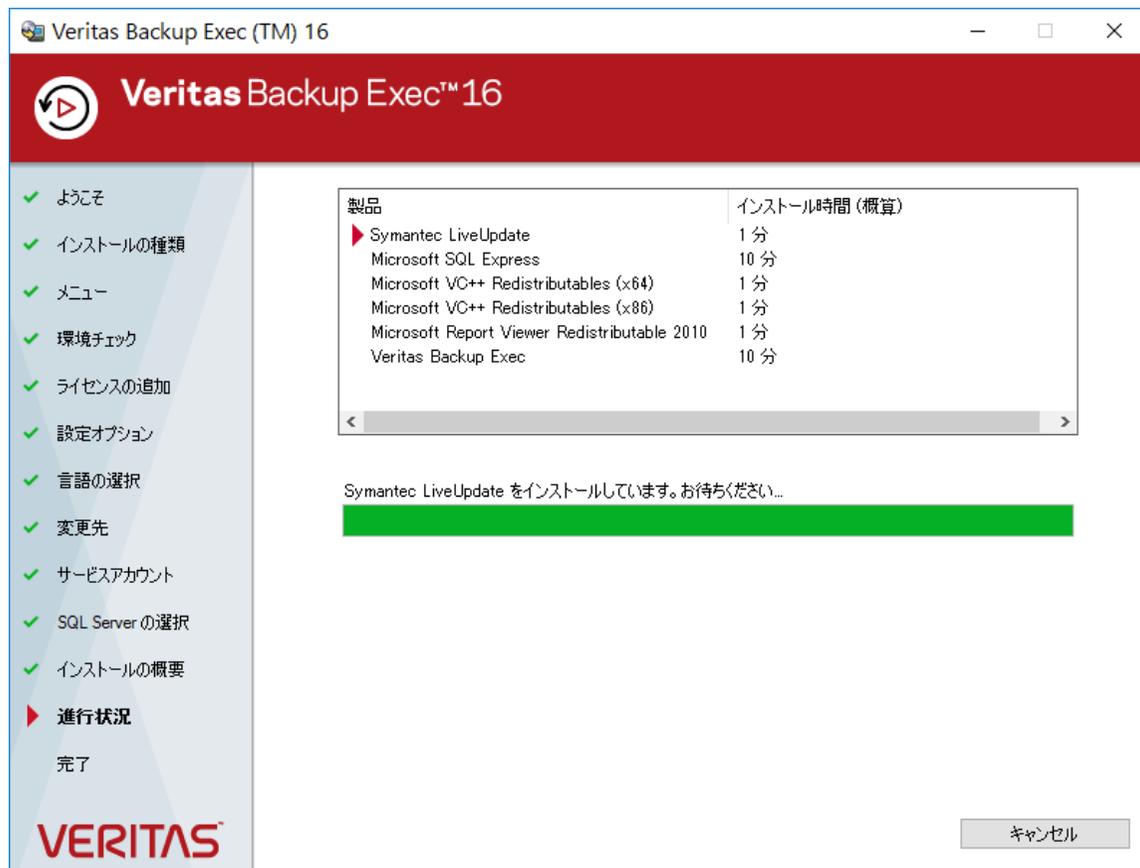
23/27 インストールの概略の確認



概要が表示されるので、内容を確認します。

「インストール」をクリックして、インストールを開始します。

24/27 インストール作業中



インストールの進行状況が表示されます。

そのまま完了までしばらくお待ちください。

表示されるインストール時間は概算のため、環境により実際の時間とは異なります。

25/27 インストール後の確認



インストールが完了すると、LiveUpdate の実行や Readme の表示を確認する画面が表示されます。

適宜設定後、「完了」をクリックします。

ハンズオンでは、左図のように、設定します。

- ・Readmeを表示
- ・システムの再起動

【注意】

- ・ データベースアクセス用の暗号化キーのエクスポートを促す警告が表示されます。内容に従い、再起動後にエクスポートを実施してください。
- ・ 実環境への導入の際は、Live Updateの実施、もしくは手動での最新 FP の適用を、強く推奨します。

26/27 アンケート



最後にアンケートの入力を求められます。

ハンズオンでは、上部にある

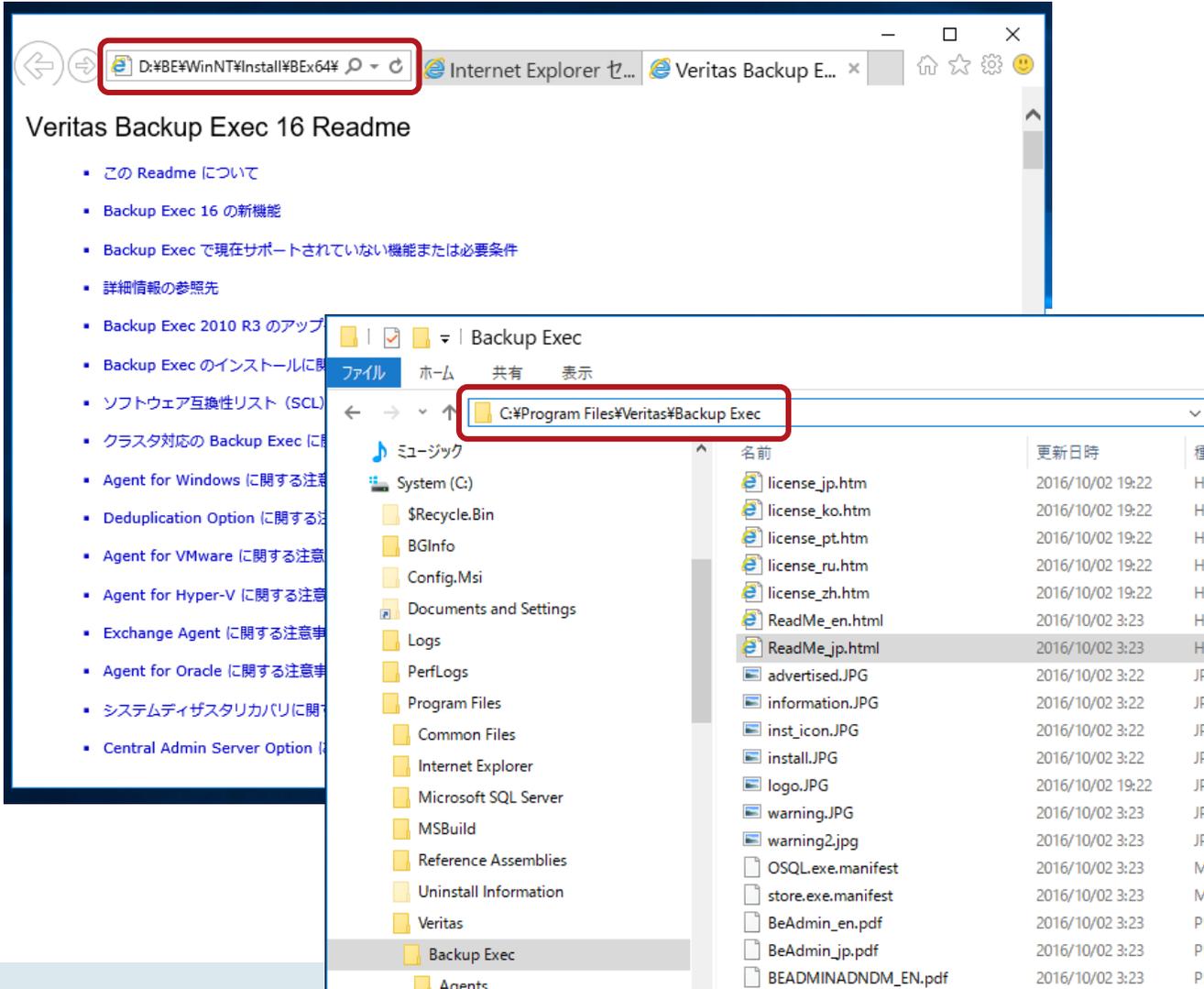
「アンケートをスキップし、インストールを終了します」

のチェックボックスにチェックを入れてスキップします。

「完了」をクリックして終了します。

納品用作業の場合は、是非アンケートにご協力ください。

27/27 Readme



Backup Exec の Readme には Backup Exec 16 の新機能をはじめとして、各エージェント、オプションの注意事項が記載されています。

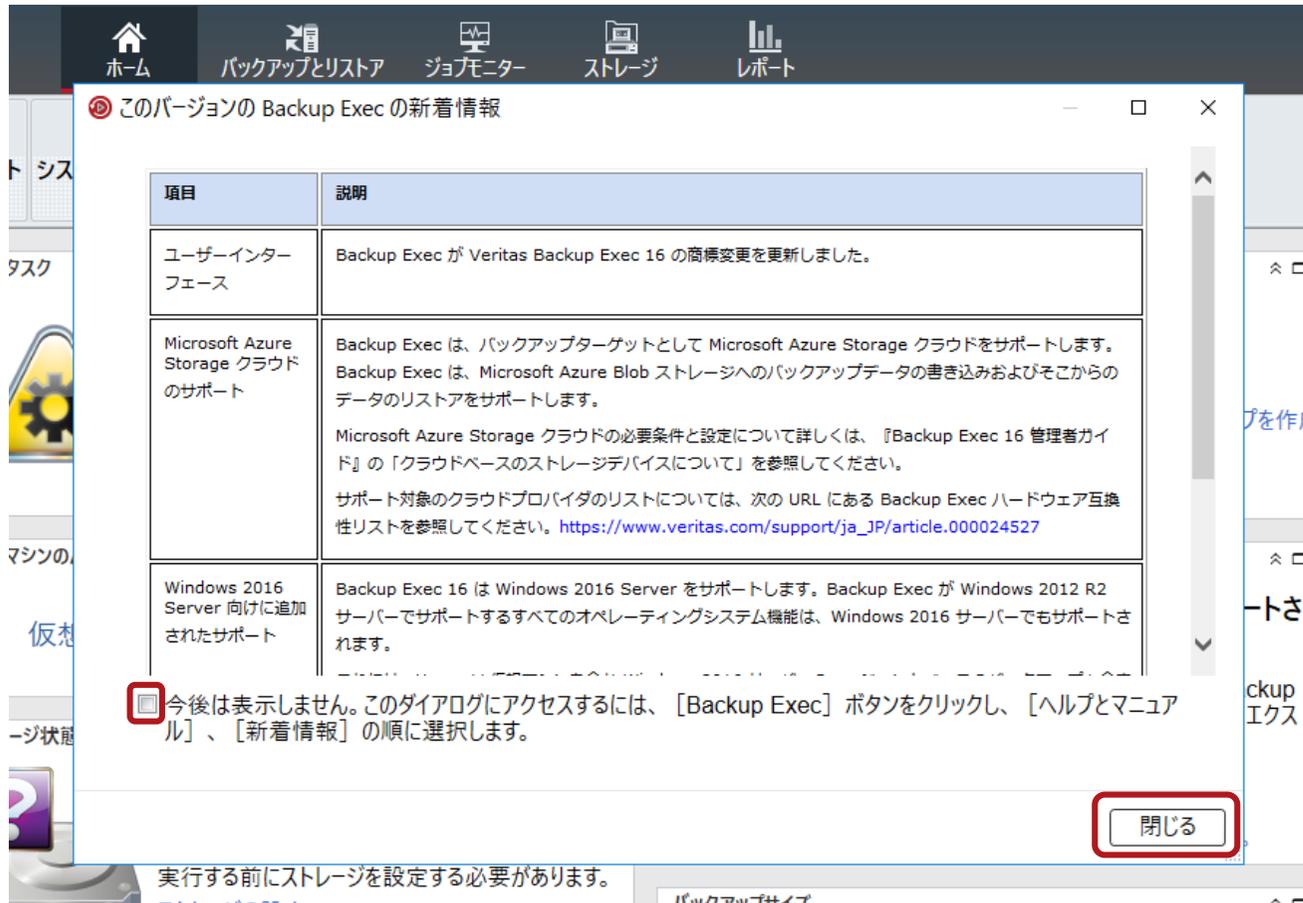
是非一読ください。

Readmeはインストールパスに格納されています。

インストールメディア内にも格納されています。

DVD-ROM上のパス:
¥BE¥WinNT¥Install¥BEx64¥readme_jp.html

付録 新着情報の表示



Backup Exec の GUI の起動時に、「新着情報」が表示されます。

確認し、必要に応じ「今後は表示しません。」にチェックをつけて閉じてください。

付録 Backup Execデータベースの暗号化キーのエクスポート



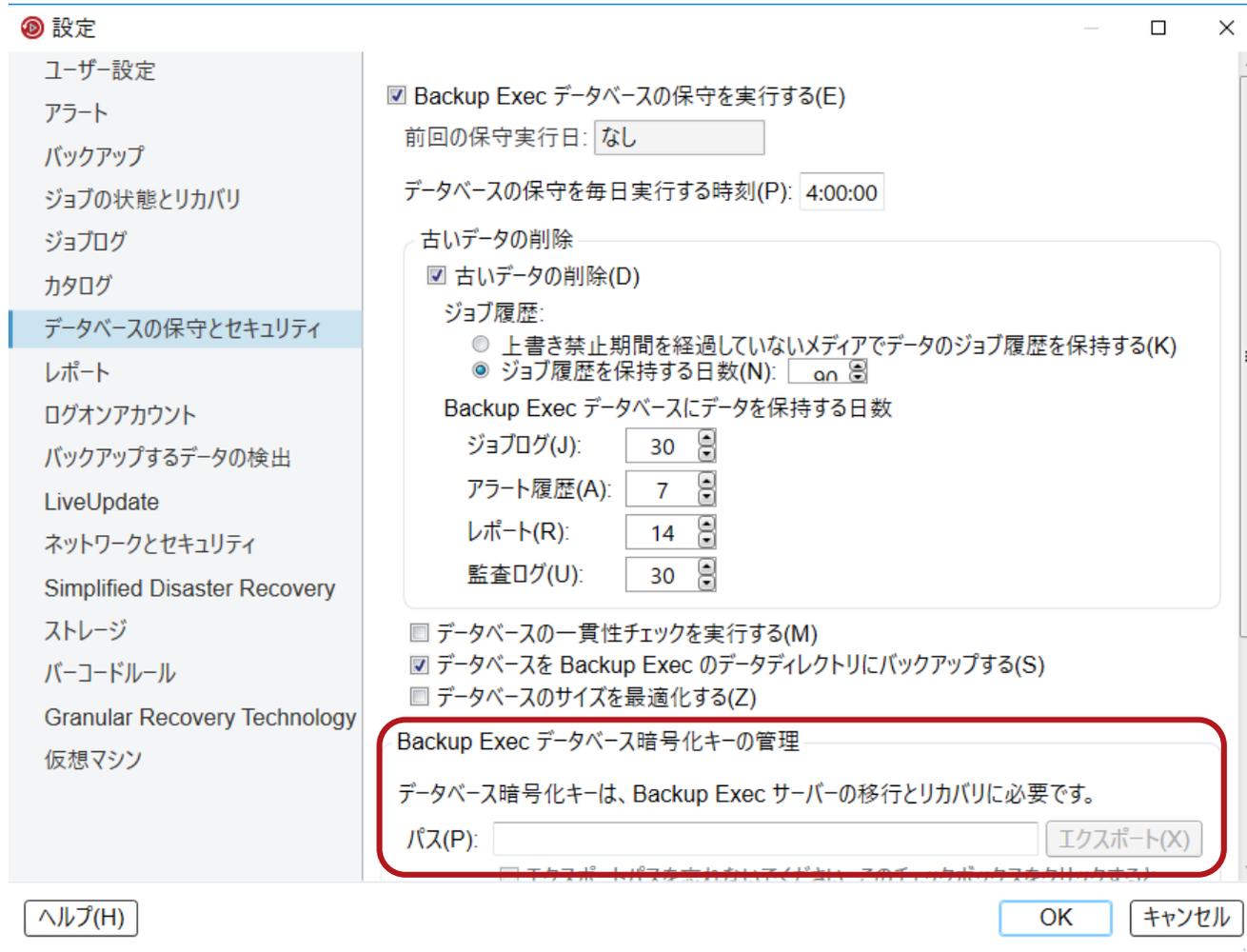
インストール直後の Backup Exec の GUI の「ホーム」タブには、データベース暗号化キーに関する警告が表示されています。

データベース暗号化キーをエクスポートするためには、左図にあるリンクをクリックしてください。

Backup Exec は各種情報の記録にデータベースを利用しています。そのセキュリティ対策として、データベースを暗号化しています。Backup Exec サーバーの障害発生時など、データベースをリカバリしたあとは、この暗号化キーが必要になります。もしこの暗号化キーが無い場合は、以下の影響が生じます。

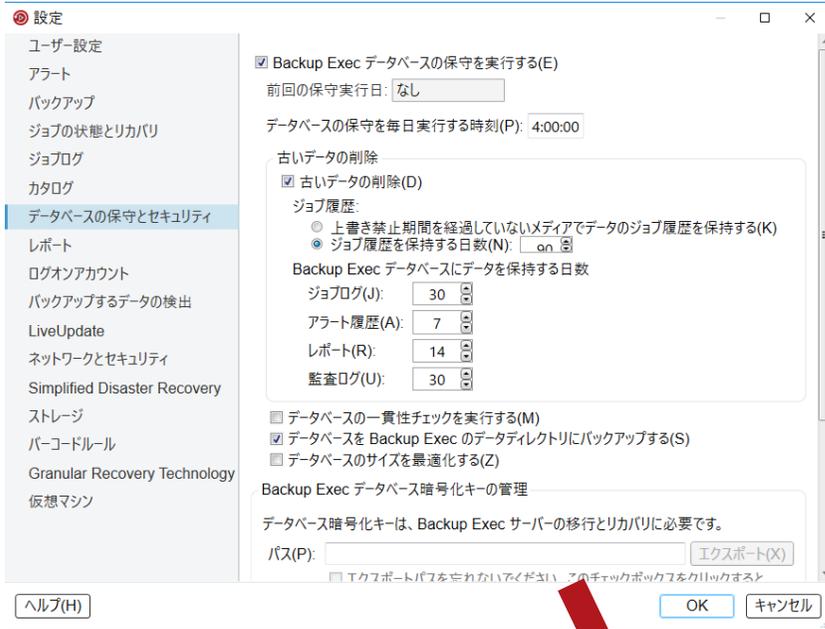
- ・過去に登録していたジョブの設定やジョブの履歴などが利用できなくなります。(データベースを初期化し、再設定が必要)
- ・バックアップデータそのものには影響しません。(必要に応じ、インベントリ/カタログ操作後に、リストア可能)

付録 Backup Execデータベースの暗号化キーのエクスポート



Backup Exec の「設定」が表示されます。画面下部が「Backup Exec データベース暗号化キーの管理」の操作箇所です。

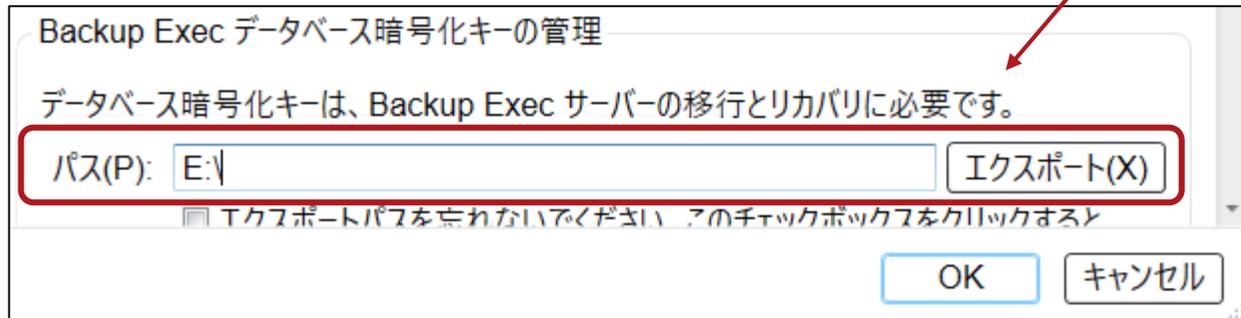
付録 Backup Execデータベースの暗号化キーのエクスポート



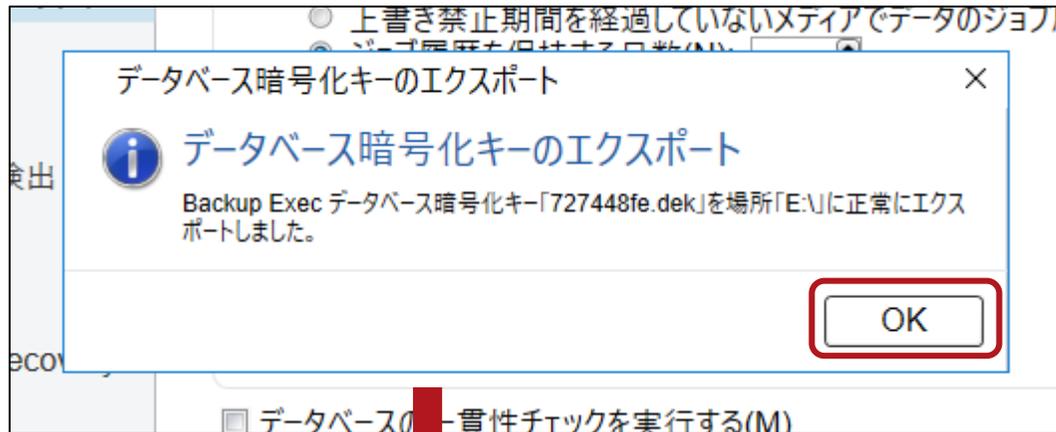
「パス」の欄に暗号化キーのエクスポート先のパスを入力します。

入力したら、「エクスポート」ボタンをクリックします。

ハンズオンでは、「E:\」と、入力してください。



付録 Backup Execデータベースの暗号化キーのエクスポート



暗号化キーのエクスポートが成功した旨のメッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックして閉じます。

エクスプローラーで確認すると、拡張子 dek の暗号化キーファイルが生成されていることが確認できます。

付録 Backup Execデータベースの暗号化キーのエクスポート



Backup Exec の GUI の「ホーム」タブも、エクスポートされたことで表示が変わります。



Thank you!

ベリタステクノロジーズ合同会社
テクノロジーセールス&サービス統括本部
セールスエンジニアリング本部

Copyright © 2015 Veritas Technologies LLC. All rights reserved. Veritas and the Veritas Logo are trademarks or registered trademarks of Veritas Technologies LLC or its affiliates in the U.S. and other countries. Other names may be trademarks of their respective owners.

This document is provided for informational purposes only and is not intended as advertising. All warranties relating to the information in this document, either express or implied, are disclaimed to the maximum extent allowed by law. The information in this document is subject to change without notice.

2016年11月23日版 V1.2

掲載されている各種情報は2016年11月23日現在のものです。これらは予告なく変更される場合があります。
最新情報はWEB,各種お問い合わせ窓口、販売店様での確認をお願いします。